

第5章 評価指標

評価指標一覧

<アウトカム区分> C：初期アウトカム B：中間アウトカム A：最終アウトカム

※「第3章3節 ロジックモデル」におけるアウトカム区分を示しています。

★…第2期信州保健医療総合計画において設定している数値目標であり、目標欄（ ）はその数値

☆…数値等の増減を比較せず、経過を観察する指標（モニタリング指標）

指標名【アウトカム区分】		現状	目標	現状の出典等	
全体					
★	健康寿命 <日常生活に制限のない期間の平均>【A】	男性	72.55年	延伸	厚生労働科学研究(R01)
		女性	74.99年		
★	脳血管疾患の年齢調整死亡率 (人口10万対)【A】	男性	41.0	減少	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」(H27)
		女性	22.2		
★	心疾患の年齢調整死亡率 (人口10万対)【A】	男性	60.8	減少	
		女性	28.3		
循環器病の予防や正しい知識の普及啓発					
★	自分の血圧を正常範囲と認識し、かつ、実際の血圧が正常の人の割合(20歳以上)【C】		37.5%	増加	健康増進課「県民健康・栄養調査」(R1)
★	1人1日当たりの食塩摂取量(20歳以上)【C】		10.5g	減少 (8g)	
★	1人1日当たりの野菜摂取量【C】		297g	増加 (350g)	
★	1人1日当たりの平均歩数(20～64歳)【C】	男性	7,028歩	増加 (9,000歩)	
		女性	6,654歩	増加 (8,500歩)	
★	1人1日当たりの平均歩数(65～79歳)【C】	男性	6,136歩	増加 (7,000歩)	
		女性	5,262歩	増加 (6,000歩)	
★	運動習慣のある者の割合(20～64歳)【C】	男性	16.6%	増加 (36.0%)	
		女性	15.0%	増加 (33.0%)	
★	運動習慣のある者の割合(65歳以上)【C】	男性	39.5%	増加 (58.0%)	
		女性	30.0%	増加 (48.0%)	
★	喫煙率(20歳以上)【C】	計	16.1%	減少 (15.0%)	
		男性	26.2%	減少 (26.0%)	
		女性	6.7%	減少 (4.0%)	
★	毎年定期的に歯科健診(検診)を受ける人の割合【C】		33.4%	増加 (52.9%)	

指標名【アウトカム区分】		現状	目標	現状の出典等	
★	メタボリックシンドロームが強く疑われる者・予備群の割合（40～74歳）【B】	男性	40.3%	減少 (40.0%)	健康増進課「県民健康・栄養調査」(R1)
		女性	9.9%	現状以下 (10.0%)	
★	糖尿病が強く疑われる者・予備群の割合（40～74歳）【B】	男性	20.5%	現状以下 (26.0%)	
		女性	21.9%	減少 (20.0%)	
★	高血圧者・正常高値血圧の者の割合（40～74歳）【B】	男性	70.4%	減少 (55.0%)	
		女性	49.4%	減少 (35.0%)	
★	脂質異常症の者の割合（40～79歳） LDL コレステロール 160mg/dl 以上【B】	男性	7.4%	減少 (6.0%)	
		女性	15.3%	減少 (7.0%)	
循環器病を予防する健診の普及や取組の推進					
★	特定健康診査受診率【C】	60.2%	増加 (70%)	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」(R01)	
★	特定保健指導実施率【C】	30.9%	増加 (45%)		
救急搬送体制の整備					
★	救急救命士が配備されている救急隊の割合【C】	100.0%	現状維持	消防庁「救急・救助の現況」(R2)	
	救急救命士が常時同乗している救急隊の割合【C】	90.0%	増加 (100%)		
☆	脳卒中に関する県統一プロトコールの策定状況【C】	未策定	モニタリング	医療政策課	
☆	心血管疾患に関する県統一プロトコールの策定状況【C】	未策定	モニタリング		
☆	心肺機能停止傷病者全搬送人数のうち、一般市民により除細動が実施された件数（5年平均）【C】	25.8件	増加	消防庁「救急・救助の現況」(H27～R1)	
	心肺機能停止傷病者全搬送人数のうち、一般市民により心肺蘇生が実施された件数（5年平均）【C】	240.8件	増加		
☆	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間【B】	38.7分	モニタリング	消防庁「救急・救助の現況」(R1)	
医療提供体制の構築（急性期から回復期及び維持期）					
<急性期の医療>					
★	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数（人口10万対）【C】	1.3施設	現状以上 (0.9施設以上)	厚生労働省「診療報酬施設基準」(R3.12)	
	一次脳卒中センター数【C】	22施設	現状以上	日本脳卒中学会(R3.12)	
★	SCU（脳卒中集中治療室）を有する医療機関数（人口10万対）【C】	0.2施設	現状以上 (0.2施設)	厚生労働省「医療施設調査（静態）」(H29.10)	
	心筋梗塞等の急性期医療を行う医療機関数（人口10万対）【C】	1.2施設	現状以上	医療政策課「医療機能調査」(R2.10)	
	脳神経内科専門医数（人口10万対）【C】	5.1人	現状以上	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」(H30.12)	
脳神経外科専門医数（人口10万対）【C】	5.5人	現状以上			

指標名【アウトカム区分】		現状	目標	現状の出典等	
★	脳血管内治療専門医数（人口10万対）【C】	0.6人	現状以上 (0.4人)	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」(H30.12)	
	循環器専門医数（人口10万対）【C】	8.9人	現状以上		
	心臓血管外科専門医数（人口10万対）【C】	1.2人	現状以上		
	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師数（人口10万対）【C】	0.7人	増加	日本看護協会(R3.12)	
	脳梗塞に対する血栓溶解療法（t-PA療法）の算定回数（人口10万対）【B】	14.8回	現状以上	厚生労働省「NDBオープンデータ」(R1)	
	脳梗塞に対する脳血管内治療（機械的脳血栓回収療法）の算定回数（人口10万対）【B】	10.4回	現状以上		
	脳血管内手術の算定回数（人口10万対）【B】	14.2回	現状以上		
	急性心筋梗塞等に対する経皮的冠動脈インターベンションの算定回数（人口10万対）【B】	16.9回	現状以上		
	虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術の算定回数（人口10万対）【B】	11.3回	現状以上		
	脳血管疾患等リハビリテーション料の算定回数（入院）（人口10万対）【B】	138,824回	増加		
	心大血管疾患リハビリテーション料の算定回数（入院）（人口10万対）【B】	6,637回	増加		
<回復期・維持期の医療>					
★	脳血管疾患等リハビリテーションを行う医療機関数（人口10万対）【C】	6.0施設	現状以上 (5.8施設)		厚生労働省「診療報酬施設基準」(R3.12)
★	回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関数【C】	27施設	現状以上 (23施設以上)		
★	心大血管疾患リハビリテーションを行う医療機関数（人口10万対）【C】	1.3施設	現状以上 (1.1施設)		
	リハビリテーション科専門医数（人口10万対）【C】	2.2人	現状以上	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」(H30.12)	
	理学療法士数（病院及び一般診療所）（人口10万対）【C】	80.7人	現状以上	厚生労働省「医療施設調査（静態）」(H29.10)	
	作業療法士数（病院及び一般診療所）（人口10万対）【C】	49.7人	現状以上		
	言語聴覚士数（病院及び一般診療所）（人口10万対）【C】	16.3人	現状以上		
	摂食・嚥下障害看護認定看護師数（人口10万対）【C】	0.6人	増加	日本看護協会(R3.12)	
	慢性心不全看護認定看護師数（人口10万対）【C】	0.3人	増加	日本循環器学会(R3.7)	
	心不全療養指導士数（人口10万対）【C】	1.6人	増加		
★	在宅療養支援病院・診療所数【C】	35病院 261診療所	現状以上 (26病院 266施設)		厚生労働省「診療報酬施設基準」(R3.12)
★	在宅療養支援歯科診療所数【C】	196診療所	増加 (279診療所)		

指標名【アウトカム区分】		現状	目標	現状の出典等
★	かかりつけ薬剤師指導料等届出薬局数【C】	632 薬局	現状以上 (588 薬局)	厚生労働省「診療報酬施設基準」(R3.12)
	摂食機能療法の算定回数(入院)(人口10万対)【B】	14,451 回	増加	厚生労働省「NDBオープンデータ」(R1)
	脳血管疾患等リハビリテーション料の算定回数(外来)(人口10万対)【B】	15,991 回	増加	
	心大血管疾患リハビリテーション料の算定回数(外来)(人口10万対)【B】	3,813 回	増加	
★	脳血管疾患退院患者平均在院日数【B】	76.7 日	短縮 (62.2 日以下)	
★	虚血性心疾患退院患者平均在院日数【B】	5.1 日	現状以下 (8.6 日以下)	
	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合【B】	57.9%	増加	
	在宅等生活の場に復帰した虚血性心血管疾患患者の割合【B】	93.6%	増加	
循環器病の緩和ケア				
	緩和ケア認定看護師数(人口10万対)【C】	2.6 人	増加	日本看護協会(R3.12)
★	緩和ケアチームを有する施設数【C】	27 施設	現状以上 (21 施設以上)	厚生労働省「医療施設調査(静態)」(H29.10)
小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策				
	成人先天性心疾患専門医数【C】	4 人	現状以上	日本成人先天性心疾患学会(R1.4)
	成人先天性心疾患専門医が勤務する医療機関数【C】	3 施設	現状以上	
社会連携に基づく循環器病対策				
	脳卒中地域連携クリティカルパスの活用がある二次医療圏数【C】	9 医療圏	現状以上	医療政策課「医療機能調査」(R2.10)
	心筋梗塞等に関する地域連携クリティカルパスの活用がある二次医療圏数【C】	4 医療圏	増加	